

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書									
2024年 5月 31日									
大阪府知事 殿									
<table><tr><td>受</td><td>付</td></tr><tr><td colspan="2">06.6.14</td></tr><tr><td>産指第</td><td>号</td></tr><tr><td colspan="2"> 大 阪 府</td></tr></table>	受	付	06.6.14		産指第	号	 大 阪 府		提出者 住 所 大阪府大阪狭山市東池尻4丁目1402番地の1 氏 名 株式会社 浅野歯車工作所 代表取締役 藤出 一 電話番号 072-365-0801
受	付								
06.6.14									
産指第	号								
 大 阪 府									
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。									
事業場の名称	株式会社 浅野歯車工作所								
事業場の所在地	大阪府大阪狭山市東池尻4丁目1402番地の1								
計画期間	2024年 4月 1日 から 2025年 3月 31日 まで								
当該事業場において現に行っている事業に関する事項									
①事業の種類	3 1 : 輸送用機械器具製造業								
②事業の規模	売上高 : 36,605百万円 (89期、2023年9月末日)								
③従業員数	699人								
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り								

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃油A 1	②廃油（スラッジ含む）A 2
	排 出 量	795.2 t	66.5 t
	（これまでに実施した取組） ・濃縮廃油の有価物へ変更(H23年9月から)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃油A 1	②廃油（スラッジ含む）A 2
	排 出 量	787.2 t	65.8 t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記記載の種類で分別、保管をしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特になし

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

③混合（管理型含む廃塗料・廃ブラ）B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ）B 2	⑤陶磁器くず（廃砥石・RCF）F	⑥汚泥（研磨カス）G
0.8 t	5.2 t	6.1 t	62.3 t

②計画

③混合（管理型含む廃塗料・廃ブラ）B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ）B 2	⑤陶磁器くず（廃砥石・RCF）F	⑥汚泥（研磨カス）G
0.8 t	5.1 t	6.0 t	61.7 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

⑦汚泥 (リフ [※] ライト) H	⑧汚泥 (水処理) J 1	⑨汚泥 (油水分離槽) C	⑩汚泥 (乾電池) L
2.1 t	299.9 t	1.4 t	0.1 t

②計画

⑦汚泥 (リフ [※] ライト) H	⑧汚泥 (水処理) J 1	⑨汚泥 (油水分離槽) C	⑩汚泥 (乾電池) L
2.1 t	296.9 t	1.4 t	0.0 t

⑪廃プラスチック①M 1	⑫廃プラスチック②M 2	⑬廃油 (廃ワニス) N	⑭木くずP
51.0 t	39.9 t	11.1 t	8.5 t

⑪廃プラスチック①M 1	⑫廃プラスチック②M 2	⑬廃油 (廃ワニス) N	⑭木くずP
50.5 t	39.5 t	10.9 t	8.4 t

⑮陶磁器くず(砥石) Q 2	⑯廃アルカリS	⑰廃蛍光灯T	⑱廃バッテリー-U 1
0.0 t	12.00 t	0.2 t	0.7 t

⑮陶磁器くず(砥石) Q 2	⑯廃アルカリS	⑰廃蛍光灯T	⑱廃バッテリー-U 1
0.0 t	11.88 t	0.2 t	0.7 t

⑭汚泥 V	合計
1.8 t	1,364.7 t

⑭汚泥 V	合計
1.8 t	1,351.1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（２０２３年度）実績】			①現状								
	産業廃棄物の種類	①廃油 A 1	②廃油（スラッジ含む） A 2	③混合（管理型含む）廃油類・炭（ブ） B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ） B 2	⑤陶磁器くず（廃珪石・RCF） F	⑥汚泥（研磨材） G	⑦汚泥（リグライト） H	⑧汚泥（水処理） J 1	⑨汚泥（油水分離槽） C		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	82.4 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	（これまでに実施した取組） ・特になし											
②計画	【目標】			②計画								
	産業廃棄物の種類	①廃油 A 1	②廃油（スラッジ含む） A 2	③混合（管理型含む）廃油類・炭（ブ） B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ） B 2	⑤陶磁器くず（廃珪石・RCF） F	⑥汚泥（研磨材） G	⑦汚泥（リグライト） H	⑧汚泥（水処理） J 1	⑨汚泥（油水分離槽） C		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	90.6 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	（今後実施する予定の取組） ・特になし											
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（２０２３年度）実績】			①現状								
	産業廃棄物の種類	①廃油 A 1	②廃油（スラッジ含む） A 2	③混合（管理型含む）廃油類・炭（ブ） B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ） B 2	⑤陶磁器くず（廃珪石・RCF） F	⑥汚泥（研磨材） G	⑦汚泥（リグライト） H	⑧汚泥（水処理） J 1	⑨汚泥（油水分離槽） C		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	171.9 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	230.7 t	0 t		
（これまでに実施した取組） ・廃油濃縮継続実施 ・排水処理場（無機性汚泥の脱水処理）継続実施												
②計画	【目標】			②計画								
	産業廃棄物の種類	①廃油 A 1	②廃油（スラッジ含む） A 2	③混合（管理型含む）廃油類・炭（ブ） B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ） B 2	⑤陶磁器くず（廃珪石・RCF） F	⑥汚泥（研磨材） G	⑦汚泥（リグライト） H	⑧汚泥（水処理） J 1	⑨汚泥（油水分離槽） C		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	161.1 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	227.7 t	0 t		
（今後実施する予定の取組） ・廃油濃縮継続実施 ・排水処理場（無機性汚泥の脱水処理）継続実施												

[illegible][illegible][illegible][illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃油A1	②廃油（スラッジ含む）A2
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃油A1	②廃油（スラッジ含む）A2
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①廃油A1	②廃油（スラッジ含む）A2
	全処理委託量	540.9 t	66.5 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	540.9 t	66.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

③混合（管理型含む廃塗料・廃プラ）B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ）B 2	⑤陶磁器くず（廃砥石・RCF）F	⑥汚泥（研磨材）G
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③混合（管理型含む廃塗料・廃プラ）B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ）B 2	⑤陶磁器くず（廃砥石・RCF）F	⑥汚泥（研磨材）G
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

③混合（管理型含む廃塗料・廃プラ）B 1	④汚泥（ドラム缶スラッジ）B 2	⑤陶磁器くず（廃砥石・RCF）F	⑥汚泥（研磨材）G
0.8 t	5.2 t	6.1 t	62.3 t
0.8 t	5.2 t	6.1 t	62.3 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑦汚泥 (リユアライト) H	⑧汚泥 (水処理) J 1	⑨汚泥 (油水分離槽) C	⑩汚泥 (乾電池) L
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦汚泥 (リユアライト) H	⑧汚泥 (水処理) J 1	⑨汚泥 (油水分離槽) C	⑩汚泥 (乾電池) L
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑦汚泥 (リユアライト) H	⑧汚泥 (水処理) J 1	⑨汚泥 (油水分離槽) C	⑩汚泥 (乾電池) L
2.1 t	69.2 t	1.4 t	0.1 t
2.1 t	69.2 t	0.0 t	0.1 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

⑪廃プラスチック①M 1	⑫廃プラスチック②M 2	⑬廃油 (廃ガス) N	⑭木くずP
0 t	0 t	0 t	0 t

⑪廃プラスチック①M 1	⑫廃プラスチック②M 2	⑬廃油 (廃ガス) N	⑭木くずP
0 t	0 t	0 t	0 t

⑪廃プラスチック①M 1	⑫廃プラスチック②M 2	⑬廃油 (廃ガス) N	⑭木くずP
51.0 t	39.9 t	11.1 t	8.5 t
51.0 t	39.9 t	11.1 t	8.5 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

⑮陶磁器くず(砥石) Q 2	⑯廃アルカリS	⑰廃蛍光灯 T	⑱廃バッテリー-U 1
0 t	0 t	0 t	0 t

⑮陶磁器くず(砥石) Q 2	⑯廃アルカリS	⑰廃蛍光灯 T	⑱廃バッテリー-U 1
0 t	0 t	0 t	0 t

⑮陶磁器くず(砥石) Q 2	⑯廃アルカリS	⑰廃蛍光灯 T	⑱廃バッテリー-U 1
0.0 t	12.0 t	0.2 t	0.7 t
0.0 t	12.0 t	0.2 t	0.0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

⑬汚泥 V	合計
0 t	0 t

⑬汚泥 V	合計
0 t	0 t

⑬汚泥 V	合計
1.8 t	879.8 t
1.8 t	877.6 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	①廃油 A 1	②廃油 (スラッジ含む) A 2
	全 処 理 委 託 量	535.5 t	65.8 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	535.5 t	65.8 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・特になし		
※事務処理欄			

②計画

③混合 (管理型含む廃塗料・廃プラ) B 1	④汚泥 (ドラム缶スラッジ) B 2	⑤陶磁器くず (廃砥石・RCF) F	⑥汚泥 (研磨カス) G
0.8 t	5.1 t	6.0 t	61.7 t
0.8 t	5.1 t	6.0 t	61.7 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑦汚泥 (リユア [＊] ライト) H	⑧汚泥 (水処理) J 1	⑨汚泥 (油水分離槽) C	⑩汚泥 (乾電池) L
2.1 t	69.2 t	1.4 t	0.0 t
2.1 t	69.2 t	0.0 t	0.0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

⑪廃プラスチック①M 1	⑫廃プラスチック②M 2	⑬廃油 (廃ウエス) N	⑭木くずP
50.5 t	39.5 t	10.9 t	8.4 t
50.5 t	39.5 t	10.9 t	8.4 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

⑮陶磁器くず(砥石) Q 2	⑯廃アルカリS	⑰廃蛍光灯T	⑱廃バッテリー-U 1
0.0 t	11.88 t	0.2 t	0.7 t
0.0 t	11.88 t	0.2 t	0.0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

⑬汚泥 V	合計
1.8 t	871.6 t
1.8 t	869.5 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t

備考

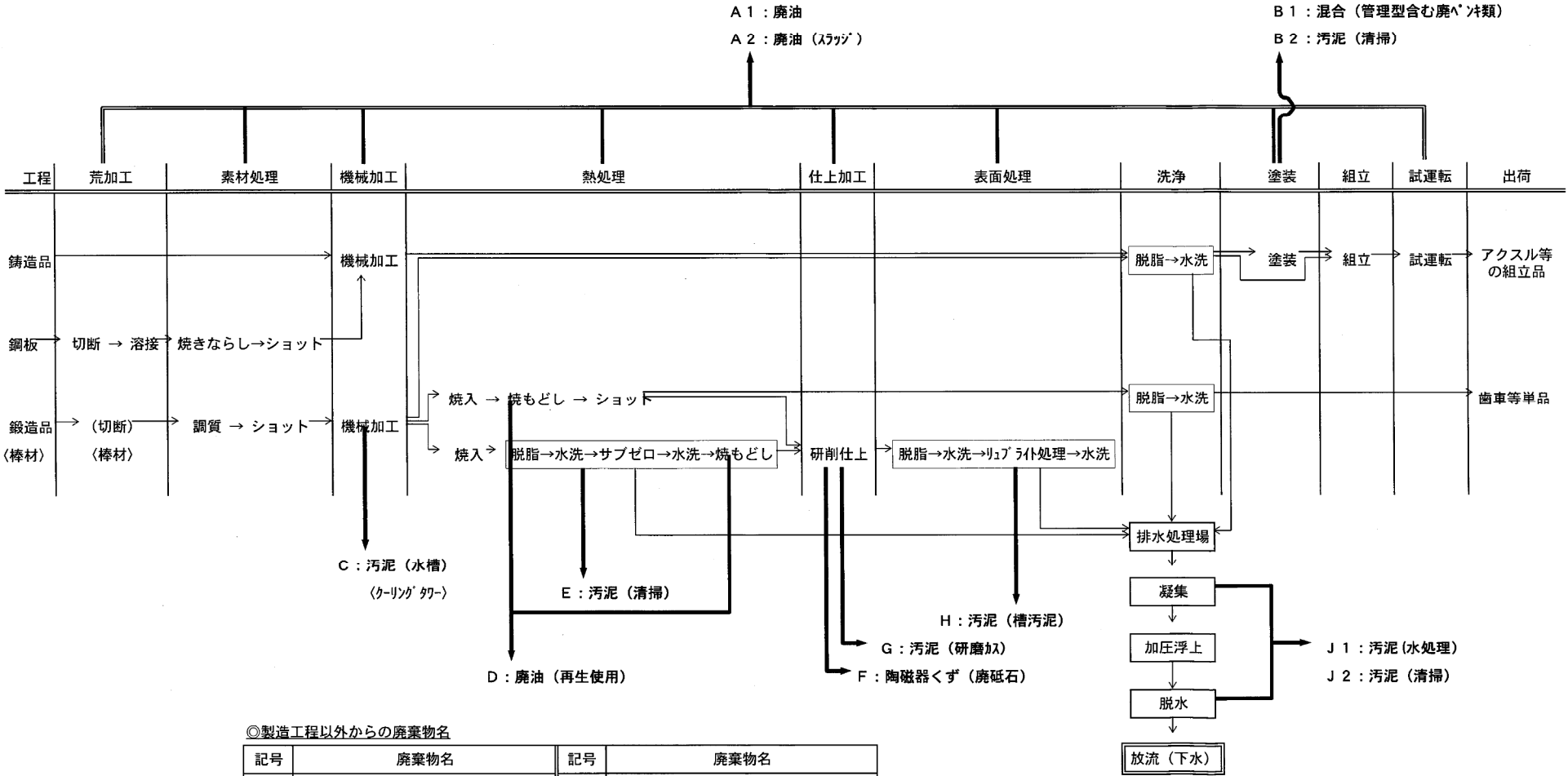
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物発生工程フローシート

添付資料①

2024. 5. 29

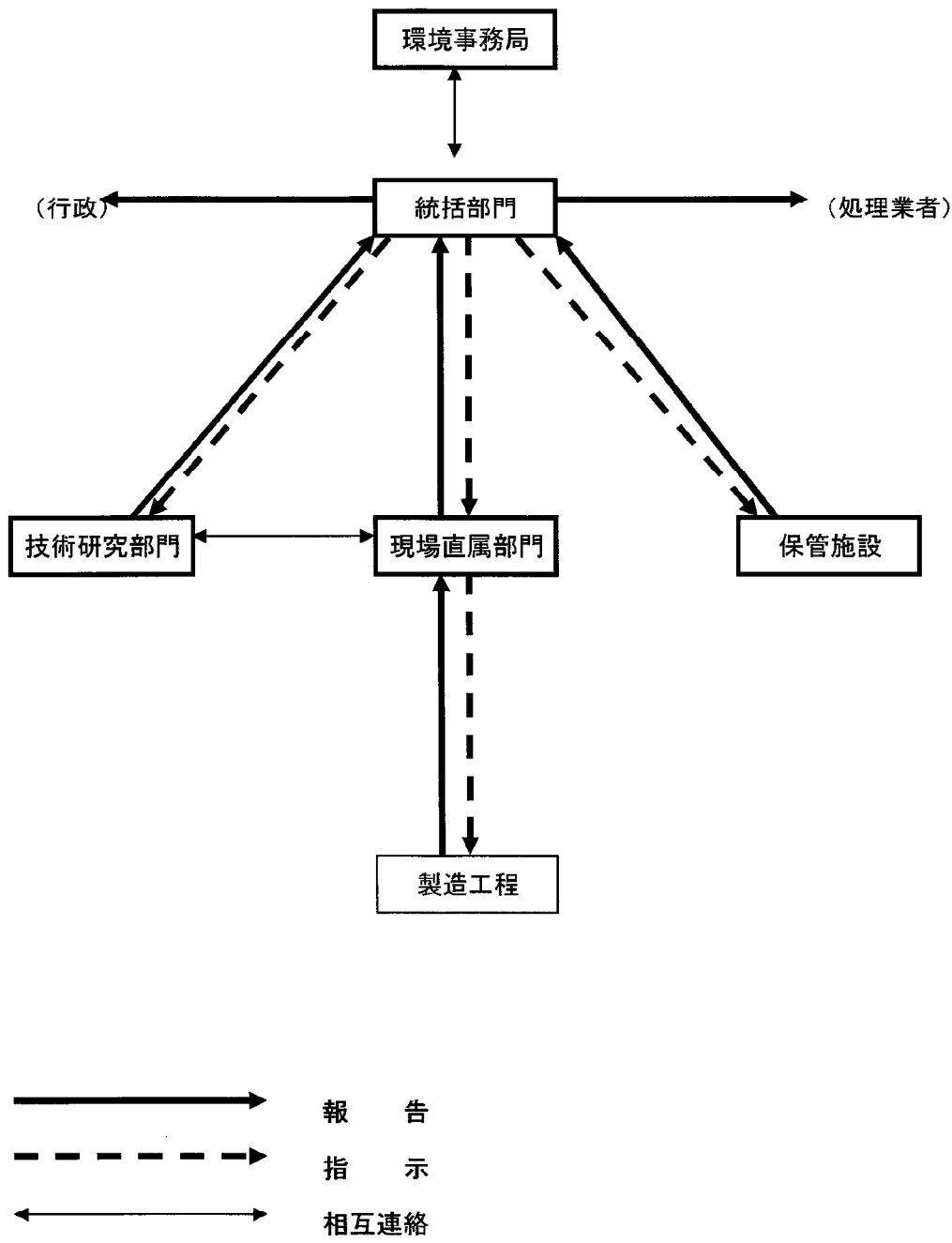
(株) 浅野歯車工作所



◎製造工程以外からの廃棄物名

記号	廃棄物名	記号	廃棄物名
K	廃油 (おが屑)	R	プラスチック類 (廃OA機器)
L	汚泥 (通路清掃等)	S	廃アルカリ
M1	プラスチック類 (分別困難品)	T	蛍光灯
M2	プラスチック類 (容器、ビニール等)	U1	廃バッテリー
N	廃油 (油付き廃缶)	U2	感染性廃棄物
P	木くず (パレット等)	V	廃酸
Q	ガラスくず		

〔社内組織図〕



〔各部署の役割〕

部 署	役 割
A 環境事務局	・産業廃棄物処理及び削減計画の策定 ・産業廃棄物の排出量の把握 ・産業廃棄物の管理及び減量化等に関する社内啓発
B 統括部門	・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿などを作成し、統括的に把握管理 ・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状などのチェック及び集計 ・処理施設(工場外)の定期的査察 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託料、委託伝票(マニフェスト)等の管理 ・各部署間の調整及び指示 ・廃棄物の資源化・減量化及び適正管理についての検討 ・産業廃棄物処理及び削減計画の実施
C 現場直属部門	・産業廃棄物の種類、性状及び発生量等の把握 ・各現場施設の維持管理点検等 ・保管施設での保管量の把握、記録の作成等 ・上記内容をAに報告
D 技術研究部門	・製造工程の研究開発 ・産業廃棄物処理技術の研究開発 ・産業廃棄物減量化手法の調査研究 ・上記内容をAに報告